



2024年5月15日

各位

会社名 株式会社ライドオンエクスプレスホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 江見 朗  
(コード番号:6082 東証スタンダード)  
問合せ先 取締役副社長 渡邊 一正  
(TEL. 03-5444-3625)

### 特別損失（減損損失）の計上及び通期連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2024年3月期（2023年4月1日～2024年3月31日）において、以下のとおり特別損失（減損損失）を計上するとともに、2023年9月27日に公表いたしました2024年3月期の通期連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

#### 1. 特別損失（減損損失）の計上について

当社の連結子会社における、収益性の低下がみられる店舗において、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、将来の回収可能性を検討した結果、減損損失として290百万円（連結）を特別損失に計上いたしました。

#### 2. 2024年3月期連結業績予想と実績との差異（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	23,703	911	890	554	56円89銭
実績 (B)	23,995	1,067	1,024	364	37円43銭
増減額 (B-A)	291	155	133	△189	—
増減率 (%)	1.2	17.0	15.0	△34.2	—
(参考) 前期連結実績 (2023年3月期)	25,353	1,251	1,099	546	55円64銭

#### (差異の理由)

連結業績予想の修正時に見込んでおりましたとおり、当連結会計年度においては、当社グループチェーンの成長へ向けたマーケティング施策等の追加投資や、積極的なデリポイント施策の実施等により、売上高は堅調に推移しました。また、2023年3月に実施した価格改定に伴う値上げ等の影響による店舗の原価率及び人件費率等の改善や、前連結会計年度に改修したポイント管理システムから得られるデータの分析及び整備が完了し体制が整ったことによるポイント引当金の見積りの変更を行ったことにより、営業利益、経常利益は前回発表予想を上回りました。

しかしながら、前項の直営店舗の保有する固定資産の減損損失として、290百万円計上したことで、親会社株主に帰属する当期純利益が業績予想を下回る結果となりました。

以上